

町政を問う 一般質問



月尾純一郎 議員

大津駅及び駅周辺地域の開発を急げ

企業の進出、住宅化、バイパスを中心とした南部地域の発展、etc、JR肥後大津駅周辺の早期開発を望む声は大きい。

①駅舎及び駅の南北を結ぶ通路等の改善、開発を急ぐべき。
②駅前に駐輪場の計画はないか。
③駅前、楽善線の道路の計画はどのようになっているか。

大津から世界へ

大村町長

大津駅及び駅周辺の整備は大津町の将来を左右する重要な課題の一つであると位置付けておりますので、大津から世界へつながるような大きな展望をもって、長期的な計画を立てる必要があると考えております。ご提案の中の駅の橋上化や南北の連絡通路を作ることにについては、バリアフリー法を考慮する必要があるため、大掛かりな改修になりますので早急に取り組むこ

とは難しい状況です。

しかし、身近な問題については取り組むことができると思います。不法駐車や自転車・バイクの盗難などが発生している現状を解決するため、駐車場や駐輪場さらにはタクシースペースの確保など広場の整備はできるのではないかと考えています。また、駅のイメージアップを図るため、夢が持てるような姿に駅舎を改造できるならばと考えておりまして、早速JRと協議を開始したいと思えます。

駅前楽善線も駅周辺の整備を行う上では重要になってき

ますが、膨大な費用を必要とするため長期的な展望の中で進めていかなければなりません。現在、住民説明会を進めておりまして、それを重ねながら県の都市計画審議会に路線の計画変更をお願いしなければならぬと準備しているところですので、多額の費用が必要ですので、財政的な裏づけを明らかにしながら、地元の住民の合意を得て、一步一步進めていかなければならないと考えております。



肥後大津駅と周辺地域の整備を

子どもたちに本物の文化・芸術を

今、子どもたちをとりまく環境は大変に厳しい。そのなかにあつて、文化・芸術が果たす役割は大きく、国も「文化芸術振興基本法」のもと様々な取り組みをしている。

大津町に文化庁の「本物の芸術体験事業」を利用する考えはないか。

心豊かな子ども達に

武田教育長

子ども達に芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う為、昨年から文化庁が「本物の舞台芸術体験事業」を推進しており、町でも県からの希望調査を踏まえ、本事業の申請を行ったところですが、地域的なバランス等もあり、採択されておりません。

県でも同様の趣旨から「生

廃校となった校舎の有効利用を

本年の統廃合によって廃校となった旧真城小、旧矢護川小を有効的に使うべきである。両校は町の中でも特に自然に恵まれた地域にある。町に「廃校校舎及び跡地利用検討委員会」の設置の考えはあるか。

大村町長

検討委員会を設けるべきとの意見ですが全く同感です。もう少し進んで、利用推進会議を立ち上げるべきではないかと思っています。矢護川小学校と真城小学校は町の宝とおっしゃいましたが、全くその通りだと私も思います。もっと多くの利用をすべきであり、大津町にある他の施設も含めた有効利

両校は町の宝

用を考えるべきではないでしょうか。

行政の柔軟性も求められていると思います。そして、地域の良い所が皆に伝わって行く、その結果として、町の宝になるのだと思います。

今、区長さんを中心に検討を重ねて頂いておりますので、次の段階としては利用推進を図る会議を立ち上げて、是非、色んな角度からの利用を進めてまいりたいと思っております。

生き芸術体験教室」の開催が行われており、子ども達の貴重な体験学習の場として毎年取り組んでおります。

生涯学習につきましても、NHK交響楽団ピアノ五重奏コンサートを開催しました。本物の芸術に接し、音楽を聴くことは勿論、楽器の名前・使い方・一緒に演奏したりと、多くの本物の芸術に触れて、心豊かになればと思います。今後とも積極的に対応していきたいと思っております。

人権教育、啓発について今後の取り組みを問う



松永 勉 議員

大村町長

今、私たちの身の回りを見てみますと、人権問題に関わる様々な事件が起きています。

原因は、人間の優しさの欠如、人権意識の欠如にあると思います。家庭の中で、人権意識の欠如が、家庭の崩壊につながり、友達、隣近所の人権意識の欠如が地域の崩壊、町の崩壊につながります。

ハンセン病患者に対する宿泊拒否の問題も元患者のみならず家族の苦痛や思いをどれだけ受け止めることができるかということだと思えます。同和問題をはじめとする

他のあらゆる人権問題についても同じことだと思えます。他人のことを自分のこととして考えられるよう、住民参加、参画の中で日本一の人権の町、人を大切にす大津町を目指してまいります。

武田教育長

二十一世紀は人権の世紀と言われ、期待をもっていました。同和問題・ハンセン病・水俣病等解決できていない問題が残っております。

学校における人権教育につきましましては、学習指導要領を基本に、県・町の努力目標・実践事項を踏まえ、取り組みをお願

いしており、幼稚園の就学前から基本的生活習慣の確立・自分を大切にする・意見を伝える等の教育を行っております。小・中学校でも子ども達の発達段階に応じ、総合学習の時間や道徳・社会の時間で人権学習をしております。また、いじめ・不登校・差別発言等子どもの人権に係わる重大な問題や教職員の人権意識の差もあり、基本的認識や人権感覚の高揚に努めていきます。



昨年の人権を考えるみんなのつどい（文化ホール）

人を大切にする心を育てたい

大村町長

現行法制度では直接的に差別された被害者を救済するには不十分なところがあると思います。そういう意味で人権侵害に関する被害者への支援や救済は大変重要な問題であると認識しております。

数年前に下校途中の小学生に対して中

年の男性が直接差別言動を行ったという事件が起きました。そのときの子どもたちは、一生心に傷を負ったまま生きているといっても過言ではありません。こうした場合の心のケアも非常に重要だと思います。

差別事象が起きた場合、差別する側と受ける側があるわけですが、その双方に対して、徹底して話を聴き、行政としての考えを伝える強靱な姿勢と同時に血の通った行政、心

人権侵害、被害者の支援（救済）が必要と思うが町長の考えを問う。

のこもった行政に心がけてまいりたいと思います。

現在、町では人権に関する相談業務については、いくつかの課で対応しています。ひとつの課で対応するのではなく町全体でこの人権問題に取り組んでまいりたいと思っております。その上で、ゆくゆくは人権支援擁護ネットワークとして被害者の心のケアの問題等、行政機構がよりスムーズに展開できるよう努めてまいりたいと思います。

次に町内の二つの小学校に差別文書が配られた件ですが、特に、かつて同和教育推進教員として一生懸命努力されてきた三名の実名が入っていたことに對して、この場を借りて、三名の名誉を守るため厳重に抗議の意思を表明したいと思えます。さらに、このことをとおして、思いをひとつにして、人を大切にする心を育てなければならぬと痛感したところです。



安永美智男 議員

道路行政について

三吉原線全線開通を今か今かと待ち望んでいる住民又中核工業団地等へ通勤する者の期待の大きさ、要望にどう応えるか。町長の熱意の程を問う。

大村町長

慎重に対処します

三吉原北出口線の桜山交差点の状況については、東部地域の住民の要望と県や警察の考え方において開きがあり、一致点が見出せないため、工事を進められない状況です。周辺の方々や企業からは早急に開通させてもらいたいと要望されており、この道路を開通させることは大津町の将来を左右する程重要なことであると思っております。工事の完成に向けてお互い主張するべき所は主張し、納めるべき所は納め、どこかで折り合いをつ



三吉原北出口線の全線開通を（桜山交差点－美咲野）

けなければならぬと考えております。そして、この合意が今後の道路行政のあり方を左右することにもなりますので慎重に対処したいと思っております。中心部の道路整備が遅れている状況ですので、今後は優先順位を付けて町の大切なお金を如何に有効に使っていくかということが大きな課題になってくると思います。

大津北小学校建設について

大津北小学校が発足して早いもので一年が過ぎ去るうとしています。市町村合併の前にある程度建設にむけて道筋を立てておいた方が良いのではないかと。

武田教育長

地域の方々のご理解により四月からスタート出来ましたが、「学校に活気がある」「友達と喜んで勉強している」との事で安心していきます。

将来を見据えて

学校の建設につきましては、町には「小・中学校通学区域及び教育施設検討委員会」があり、その中で建設場所等の検討・協議をお願いしております。「六年以内」としてありますので、早急に場所の設定を行いたいと思っております。

北小学校に美咲野・高尾野・新小屋を含む事につきましては、地域での話し合いが大切ですが、将来を見据えた中での場所設定も大切であり、ひとつの方法として検討委員会で協議をお願いしていきたいと思っております。

大村町長

大津町全体の問題として、又、将来の姿を占う重要な問

題でもあり、学校の在り方を踏まえて十分検討していきたいと思っております。

大津町の治安について

今日この頃、治安が悪化し日増しに凶悪化、多発しております。自分のことは自分で守れが基本である事は私も理解していますが、行政は、地域は地域としてどうあるべきであると思うか？ 住民の連帯感、愛町精神が大切だと思ふ。行政の取り組みは万全かを問う。

大村町長

大津町でも犯罪の件数が増え、治安が悪化しているのも事実です。地域の安全を守るのは行政の責務であり、「安全なまちづくり」に取り組むべきであります。

安全なまちづくりに一生懸命取り組みます

現在、防犯協会としての大津町自体の組織がなく、町全体のネットワークづくりを考えるとき、行政区嘱託員、町行政、警察による

ネットワークづくりに取り組みます。犯罪等の情報を警察から町、行政区嘱託員へ連絡、それを受けて住民への周知、意識の啓発に努め、行政区嘱託員から犯罪の発生、不審者等の情報を直接警察へ又は町を通じて連絡をとるネットワークの整備を図ることとします。

大津町に住む人が何を規準にするのか、それは、治安問題が選ばれる条件の一つですので、犯罪が減るよう一生懸命取り組んでまいります。



北小学校建設に向けてある程度の道筋を（大津北小）

四町法定協議会離脱について



坂本 典光 議員

大村町長の提案で大津町が四町合併法定協議会に参加したのは周知のことである。国は一人以下の小規模町村の合併を強く推進している。

○、全国の町村数は約三二〇〇、うち半数の一五四六が一万人以下の町村である。人口三万人以上の町村は一八、全体の5%しかない。大津町の人口は三万弱であり、規模の面から見ても小さな町村ではない。また財政面から見れば、県下でナンバーワンの優良な町である。自分を安売りして四町合併に走る必要はない。大津町は財政力のほかに交通の利便性もある。水資源にも富んでいる。将来性のある町を経営、発展させる自信がないようでは、大村町長は大津町長として元気がなさすぎる。大津は「宝の山」と言っていた町長就任時のフアイトはどこへ行ったのか。

あたかも四町合併が確定したかのように、法定協議会から新しい市に対するアンケート調査、あるいは新市の名称募集などが町民に配られている。町民は「自分たちに十分な説明もなく、合併は決まったことなのか」と不安がっている。早急に、四町合併法定協議会から離脱し、大津町の利益になつて、大津町を中心とした町づくりを進めるべきである。

まず町民説明会をする

大村町長

四町合併協議会を提案した経緯、私の思いについては、詳しく伝えてきました。法定協議会への参加は、協議会の趣旨が合併の是非も含めての協議でございます。

四町での議論で大津町のまちづくりに対する思いを踏みにじられたならばと申し上げましたが、新しい庁舎の位置や都市計画、農業・商業の問題も含めて町民の方々が安心や期待が持てるようなビジョンが新市の建設計画にどの様に盛り込まれていくかだと考えています。

現時点での協議会離脱は考えていません。今町がすべきことは、住民の人たちの思いを胸に秘めながら、新しい一〇万都市をどう構築するかだと思えます。構築されたらみなさんに説明し、判断をいただきたいと思えます。一月二十九日には、途中経過を含め、今どういう状況で動いているのか、どのような問題を解決すべきか十分に説明し、町民の意見もいただきながら進めていくつもりです。

若草学園の跡地について

平成十三年に若草学園が大津の今の場所に移転した。引水にある旧学園跡地を町は売却しようとしている。この土地は旧学園設立当時、引水の方々が、子どもたちのために「安い価格で提供された」といふきさつがある。この土地が不要になった今、町当局は安い価格で元の地権者に売却するか、または一部を公園にするなどして地元還元しないければ筋が通らぬのではないか。

公園化したい

大村町長

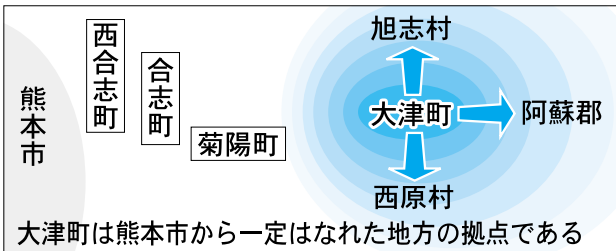
若草児童学園の跡地の利活用についてですが、当地区は人口も増加し、公共の施設や憩いの場もない状況です。若草児童学園が移転して、引水に膨大な町有地が空いています。どうするかですが、提供された町民にお返ししたらとの議員のご指摘もありますが、他の



若草学園跡地の活用は（引水）

土地との関係があり、安い価格での元の地権者に売却する考えはありません。むしろ、地域のために有効に活用すべきだと思います。地域の方々の思いがどうか、集約しなければなりません。特に引水地区、その周辺、また大津小学校もあります。地域の人に喜んでもらえるような、近くにある小学校が活用できるような施設のあり方を考えていきます。

もう一つ、地元の人々が責任をもって管理してもらい、地域の共通財産として捉えてもらえればと思います。そのことが、公園を通して地域の仲間づくりや地域づくりにつながればと思います。中心地における土地利用のあり方に一石を投じると考えます。



住民投票の否定はしませんが まず住民説明会にとりくみます

大村町長
町村合併は、合併そのものが目的ではなく、町民の方々が幸せになるための手段であることが町村合併を行う基本であります。住民投票の否定はしません。しかし、その前に町民の方々に十分説明することが町の責任と思います。現時点での合併協議の途中経過としての説明資料を作成し、一月二十九日に住民説明会を開催し町民意向の集約に努めます。

四町合併は住民の声を聞くべき 民主主義の根本が問われている

大津町は、熊本都市圏から独立した地方の中核都市として発展できる地の利、財の利、文化の利を持っている。四町合併では、大津町がみすみす熊本市隣接三町に吸収されてしまうことは明らかである。重ねて問いたい。合併の決定権は主人公である町民にある。住民投票によって合併の是非を問うべきではないか。



荒木 俊彦 議員

信頼しあえる、人と人との 豊かな関係を築きたい

大村町長
決して人権を守っていると断言できない状況が相次いで起きています。水俣病、ハンセン病元患者、部落差別等の人権に関わる状況を大津町として謙虚に受け止めるなければならぬと思います。その上で町として町民お一人おひとりと膝をまじえながら進めてまいりたいと思います。それぞれが信頼し合い、

権力を持っている行政が人権を真剣に守っているか。一方で児童生徒の中で安易に差別という言葉を使っていないか

ハンセン病元患者への偏見による宿泊拒否という差別が明らかになった。元患者の皆さんは平均年齢七十歳以上の高齢をおして、正に命がけで国家による人権侵害（差別）の真相究明と謝罪を求められました。熊本地裁での全面勝利の後、国や行政はあわてて元患者への差別偏見解消を言いだしましたが「これほどひどい人権侵害」について国も町行政も、ほとんどふられてこなかったではありませんか。

憲法十四条では「すべて国民は法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により「政治的、経済的又は社会的関係」において差別されない。」となっており、国や自治体、企業団体はもちろ、社会でも組織的な人権侵害は許され

ないことです。裏をかえせば個人的言い争いの範囲は「差別したされた」とは言いえない。つまり差別の定義をきちんと明らかにする事が必要ではないか。一方で児童生徒に対して部落差別だけが強調されていないか。うわべだけの人権擁護になっていないか。子どもどうしのやりとりの中で安易に「差別した、された」と言い合う事例も聞いている。中学生にもなると大人の本音と建前を見すかしているのではないか。子どもどうしの中に安易に差別さがしを持ちこんだ同和教育の弊害ではないでしょうか。人権とは何か、差別とは何か真剣な自由な議論がなされているか問いたい。

人と人との豊かな関係を築くために、地域の皆さんの参加をいただきながら、一生懸命に取り組んでまいります。

武田教育長

人権が尊重される社会は人権について一人ひとりが正しく理解することが大切です。これまでの取り組みで差別を見抜き、乗り越える力が育ってきています。差別は利害関係や当事者になったときに発生しており正しく認識する様指導していきます。同和問題・ハンセン病・水俣病問題等多くの課題もあり、「人

巡回バス・福祉タクシー を急ぐべきではないか

大村町長
基本的には、既存の路線バスの有効利用を図りながら本年十月からサービス開始の外出支援サービス事業を充実させ、タクシーとか大津町で買える物ができる福祉手形（仮称）等についても検討したいと思っています。

権教育のための国連一〇年「大津町行動計画に沿って人権教育を推進していきます。

町民が主役です
平成十六年度までの、完了する事業は、区画整理や農業集落排水事業、大津北部地区畑地帯総合整備事業（一工区）、森林公園整備事業などです。新しく十六年度に進める事業は、日本一まちづくりミニ特区構想、桜山交差点、環境の森構想、福祉や子育て、農業や教育などの充実、商店



大村町長と対話する町民の皆さん（役場－町民対話室）

町民が主役です

大村町長

平成十六年度の基本的な方針は、日本一のまちづくり構想を進めるために、町振興総合計画を基本に四町合併問題や町財政の収支見直しを考慮、町民の期待に対応した「生活重視型の行政」の実現を目指していきたいと思っております。平成十六年度までに、完了する事業は、区画整理や農業集落排水事業、大津北部地区畑地帯総合整備事業（一工区）、森林公園整備事業などです。新しく十六年度に進める事業は、日本一まちづくりミニ特区構想、桜山交差点、環境の森構想、福祉や子育て、農業や教育などの充実、商店

町長になられる前、団体組合企業で仕事をされて、厳しい企業経営であつた仕事場をすばらしい企業に立て直されたかと聞いております。私達町民も町長に期待しています。国の進める合併に協力して、強い大津町をつくってもらいたい。そこで、新町長のカラーを早く出してもらい、計画、指針を町民に。町民対話室の中間報告を聞かせてもらいたい。

二〇〇四年を迎えるにあたり町長の町づくりの計画、希望を聞かせてもらいたい



藤森昭二朗 議員

自然体験により子ども達の感性を育てる

社会の変化に伴い子ども達が自然と触れ合う機会が少なくなってきました。各学校では総合的な学習の時間等で地域の方々の知恵や技術を活用する等により、自然体験学習に努めております。実のなる木の植栽・掲示板の整備につきましても、木の名前・花の咲く時期等を記載し、わかりやすい勉強の場を整備していきます。

武田教育長

学校の周りに季節の果物を植えて、休み時間の気晴らし、体験学習の場に

冬の季節は、植木を植える時期ではなからうか。大津町の各学校の周りを見て、クス、ケヤキ、桜、いちよう類が主に六十、百本位、バラバラに植えてあるかと思う。果物類は一本も見当たらない。私達の子どもの頃は山の木の実、かき、みかん等色んな果物をかじり食べたものであった。人間形成に役立ったかと思う。学校の周りに色んな果実の木を仲間に入れて植えて、果物に付く害虫、益虫、虫の一生、木の枯れる現場、こやしやり、草取り、手入れ等の体験ができる場の充実をしてはどうか。

①経験のある高齢者の方々の知恵を借りたらどうか。
②新学期にむかつて各学校の校風に合った植え方を。
③植木の名前、性質等のわかりやすい掲示板の整備を。
果物の実、木に触れる事により、きびしさ、優しさ、楽しさ、我慢強さ、心のいやし等色んな体験が身近に出来る、自然は生きた先生ではなからうか。

長期的、短期的に計画を立て

駅を南北につなぐ連絡通路や駅の橋上化については、肥後大津駅から熊本空港までのアクセスなど将来を見据えた長期的な展望が必要になりますので、早急の着手は難しい状況です。しかし、短期的に整備しなければならぬ問題を抱えて

大村町長

豊肥本線の大津駅をまたぐ南北の連絡通路をつくったら、駅を利用する方、南の商店、北側の商店の活性化になるのではなからうか。

大津駅をまたぐ南北の連絡通路をつくったらどうか

おりますのでこれについては早急に検討を進めていきたいと考えています。特に、駅前の広場の確保や駅のイメージアップを図る事を一時的な整備計画として、今後二次的、三次的な整備方針も立てていきたいと思っております。肥後大津駅は大津町の顔、商店街の顔です。大津駅を中心とした大津の町並みをどう作り上げていくかが今後の課題になると思っております。



各小中学校に実のなる木を（写真は室小学校）

情報収集に徹し町民の意向を 尊重し行政の活性化に努めます

大村町長
ミニ特区構想が
一歩踏み出します
と総合的に意見を
集約する機関が必
要です。嘱託員会
議を機能強化して
まちづくり委員会
に相当する会議に
と考えています。
行政が一番遅れて
いるのは情報収集
と、分析と対応で
す。町政情報収集

は担当課に今求められている
緊急的な課題です。職員の意
識改革、情報収集能力、危機
管理意識が必要です。役場の
会議のシステムでは調整会議
で問題点を洗い出し、整理し
庁議にかけ、意思決定してそ
れを課長会議で周知徹底を図
るシステムです。担当課が情
報収集し、分析して町民に
とつてよりよい政策を実現し
ていくシステムが必要です。
この強化に努めていきたい。
次に必要なものは町民に

地域の活性化等について

これから地方分権の時代を迎え国の権限、事務、事業が
地方行政に移譲され、真の地域主義による地方自治の原点
に立ち地域づくりが始まるうとしています。これからは箱
モノ行政から脱して新しい創造に向けて地域の特異性を見
出し、自らの手で地域活性化を図るには価値観の変化に対
応した施策を見出すためにも、専門部会を設け行政と住民
が一体となり徹底的に意見交換を行い、活性化の活路を見
出す考えはないか。所見を伺います。



手嶋 靖隆 議員

しつかり説明して理解して頂
くことです。特に若い職員に
ついては説明能力、コミュニ
ケーション能力が足りないか
と思います。委員会等の外部
の研修に参加させ、職員の行
政能力、情報収集能力、調整
能力を育成します。

最後に三十名近くのボラン
ティア委員の方たちに町の事
業の評価をしていただしてい
ます。非常に大切なことです。
委員さんの協力を得ながらま
ちづくりのためさらに進めて
いきたい。



若草学園跡地を運動公園に（引水）

防災の拠点並びに運動広場として 整備したいと思います

大村町長
若草児童学園の
跡地の利活用につ
いてですが、前回
の議員の質問に対
して、①売却して
財源とすること。
②今後の公共事業
の代替地として確
保しておくこと。
③公共施設、特に
コミュニティ施設
用地として活用す
ること等、大まか
に三つの選択肢が
考えられ、今後結
論を出していきたい
と答弁がなされ
ています。社会福
祉施設の建設のた
め当該用地を購入
したいとの要望が
ありましたが契約



には至らなかった経緯もござ
います。現在、売却して財源
に充てること・公共事業の代
替地としての確保の必要もあ
りません。
当地区は人口も増加し、公
共の施設や憩いの場もない状
況です。多額の予算をかける
のではなく、芝生広場として
整備することにより、災害発
生時の防災の拠点広場として
また、健康増進のための運動
広場として、一方では実のな
る木の植栽などについて地元
引水区の方や学校の意向等
を聞いてまいります。

遊休町有地の活用について

若草学園跡地は、雑草が繁り除草等の管理費用もかさみ
廃棄物の捨場になりかねない現状を踏まえて、当地区（引
水、引水東）は新興住宅地として人口も増加しています。
周辺には憩いの場もなく、今後、災害発生時の避難場とし
て危機管理上、重要な対策拠点としての空間も必要と思わ
れますが、日常は住民の健康増進を図るためにも運動公園
的に整備され、活用されることを望むものです。このこと
について、どのような考えをお持ちか伺います。

行政と教育の場で 防犯体制の強化に努めます

大村町長
防犯に対する取り組みは、防犯協会による啓発活動や年末警戒、青少年育成町民会議、セーフティボランティアでのパトロール等を行っていきます。現状は、ボランティアに頼っている状況です。

町では「安全が発生しましたし、不審者も

武田教育長

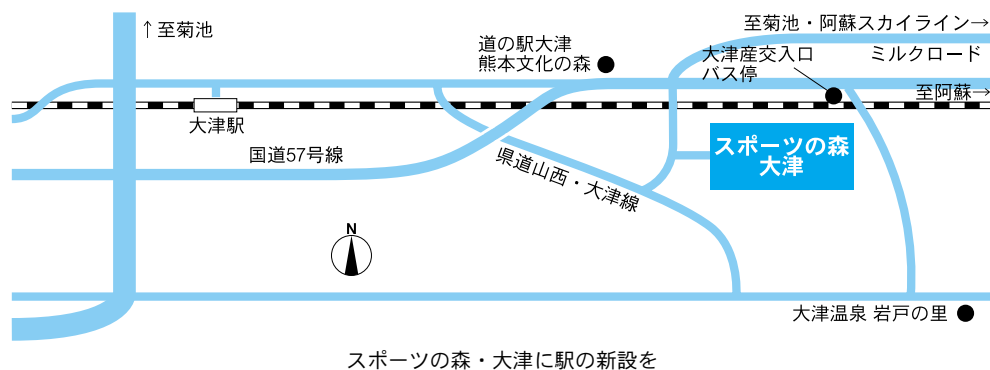
なまちづくり」をぜひ宣言したいと思います。そのためにしなければならないことが二つあります。それは、ネットワークづくりと子どもの安全教育です。後者は行政と教育の分野で十分話し合っていきたいと思います。いずれにせよ、子どもが犠牲になる場合が多く、早急なる対応が必要と考えます。

治安体制について



永田 和彦 議員

国民の生命、身体、財産を守ることは国の基本的な責務であるが、犯罪は増え続けている。①凶悪化する少年犯罪 ②急増する来日外国人犯罪 ③見えない形で社会の各層に浸透する暴力団犯罪といった「治安三悪」に対し、どう立ち向かうのか町としての体制を確立すべきである。町民の不安を取り除き安心して住めるまちづくり施策が今望まれている。



スポーツの森・大津に駅の新設を

出現しております。各学校では危機管理マニュアルで具体的な対応例を指示し、繰り返し指導を行っておりますし、「自分を守る力」を身に付けさせるための教育プログラムによるワークショップを行っております。



スポーツの森・大津

総合施設として価値ある ものに整備します

十八年度には完成する予定で画されています。合併もからんできますので、合併後の新市建設計画で新市における重

大村町長
スポーツの森は多額の費用を投じて整備した施設であり、総合体育館が完成間近です。プール建設については、運動公園全体の整備計画の中で進めています。順調にいけば平成十八年度には完成する予定で画されています。合併もからんできますので、合併後の新市建設計画で新市における重

不便なり、スポーツの森
スポーツの森は、町民全体の財産である。公共交通機関を整備し利便性を高めなければ、一部の方々の利用にとどまるだろう。また、新しい体育館には多面的な機能と設備を望んだがプールはない。今後の発展のためには、まず駅の新設を最低条件と考える。

要件として実現できるよう強く要望してまいります。施設の利便性を高めるために、今検討しているのは、既存の生活路線バスの経路を若干変更して有効活用できないかということです。町内からスポーツの森への公共交通機関でバス路線を考えた場合は、内牧環状線、大津く西原く木山線を森地区からスポーツの森へ廻すことについて可能だと思われま。事業者、関係町村と協議を行います。また列車の駅の新設についてはJRと協議しなければなりません。駅を新設することによってどれだけ利用が増加するかにかかっています。町民の方々の熱い思いがありますが、利用者がどれだけ増加するのかわからない状況です。ので、ぜひ実現に向けて調査を開始したいと思います。